

令和4年度 週休2日試行工事に関するアンケートの結果（元請会社）

- ・令和4年度にしゅん功した工事を対象
- ・元請会社 62社が回答

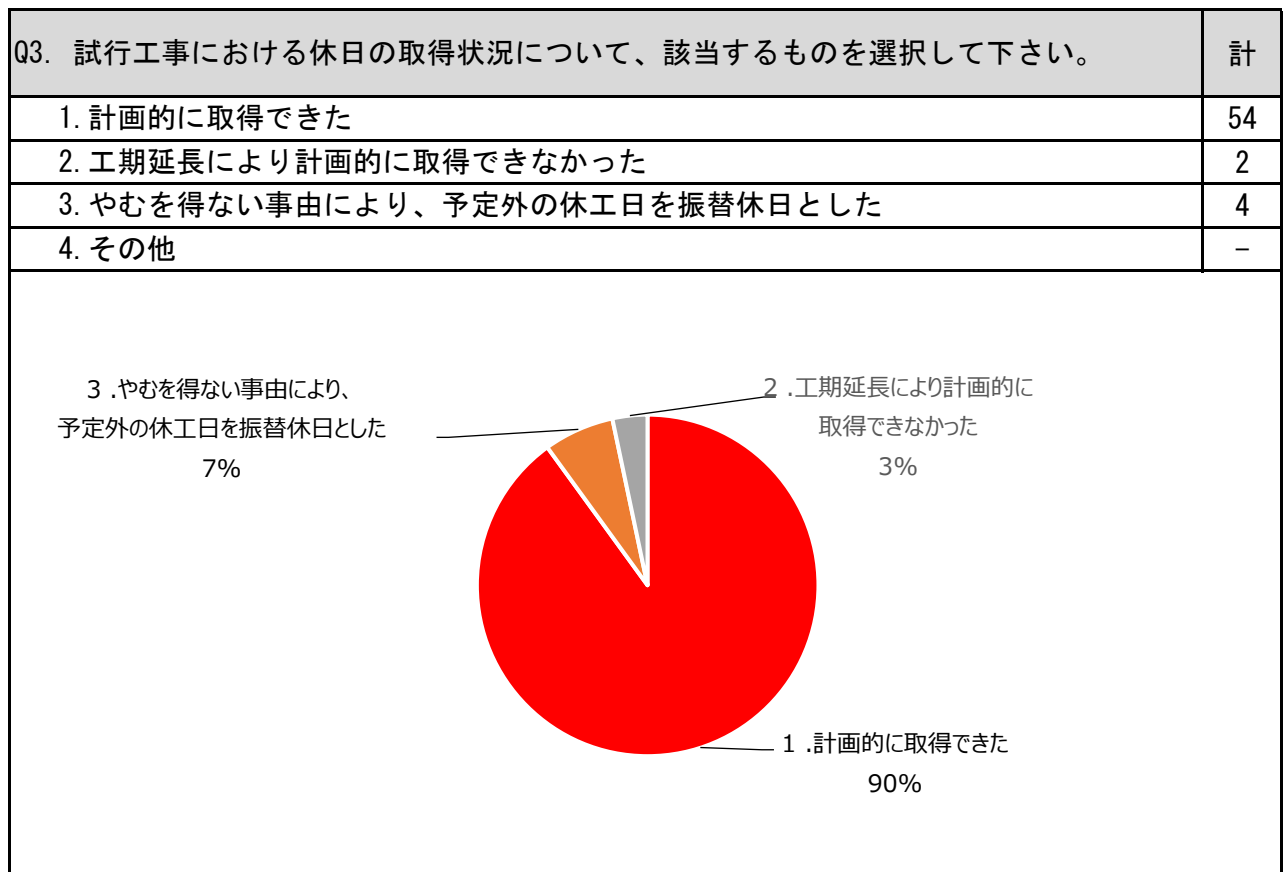
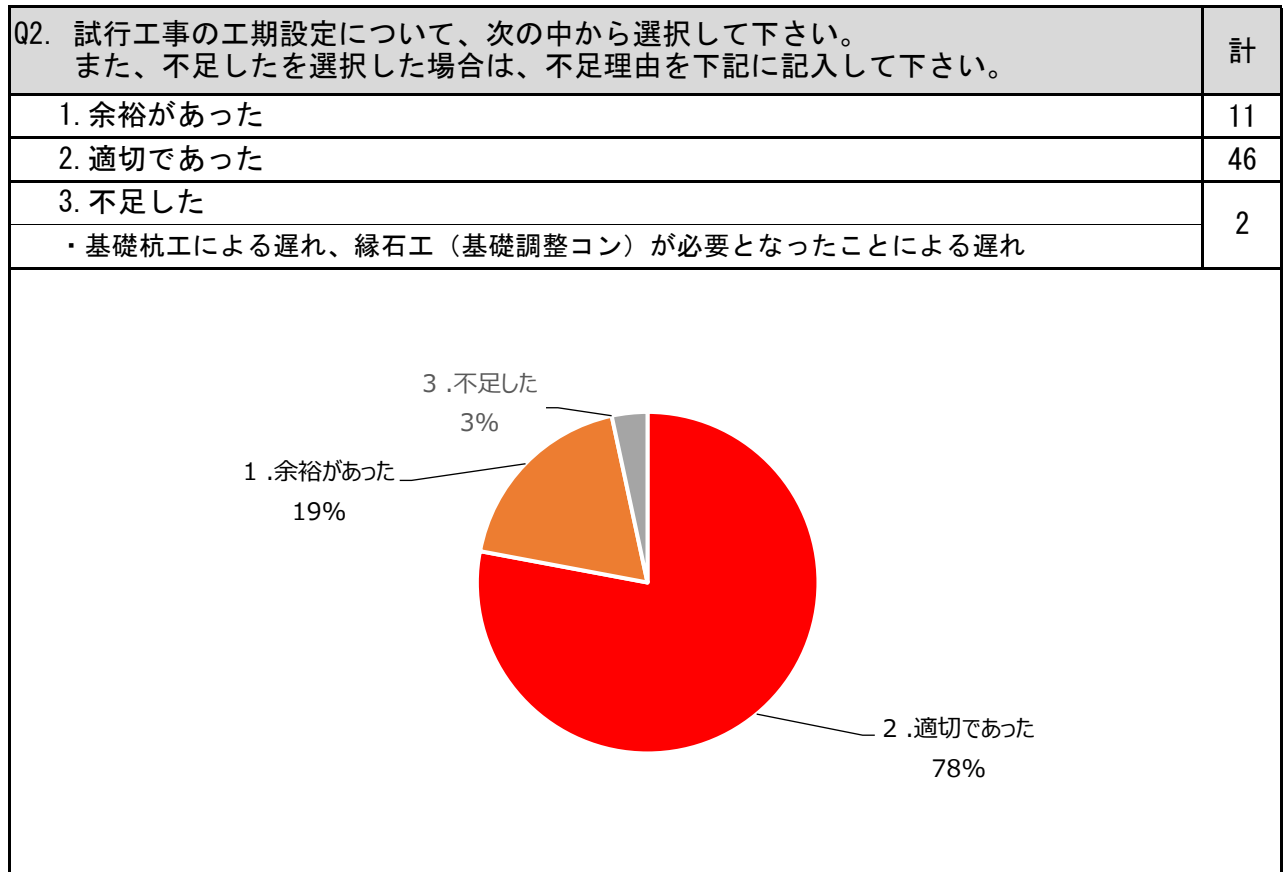
【基本情報】

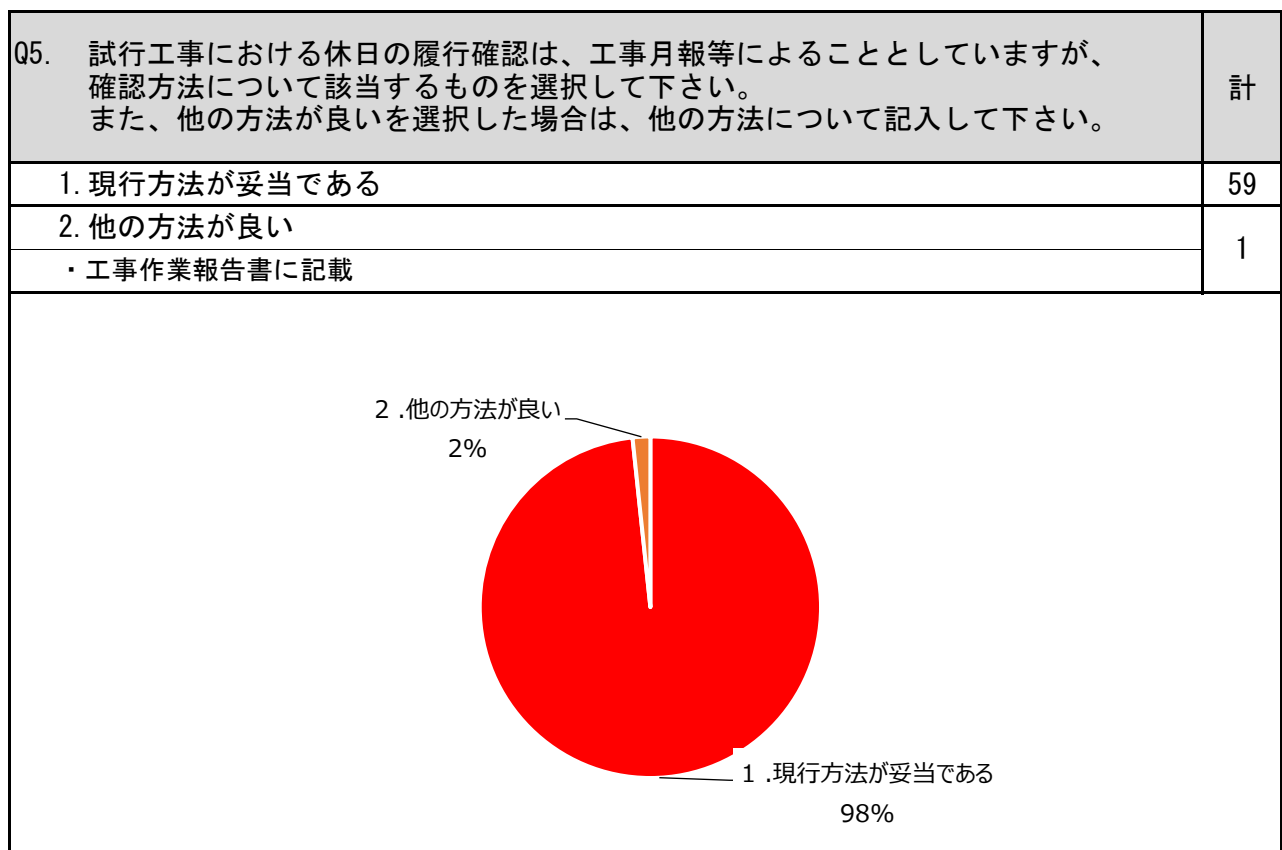
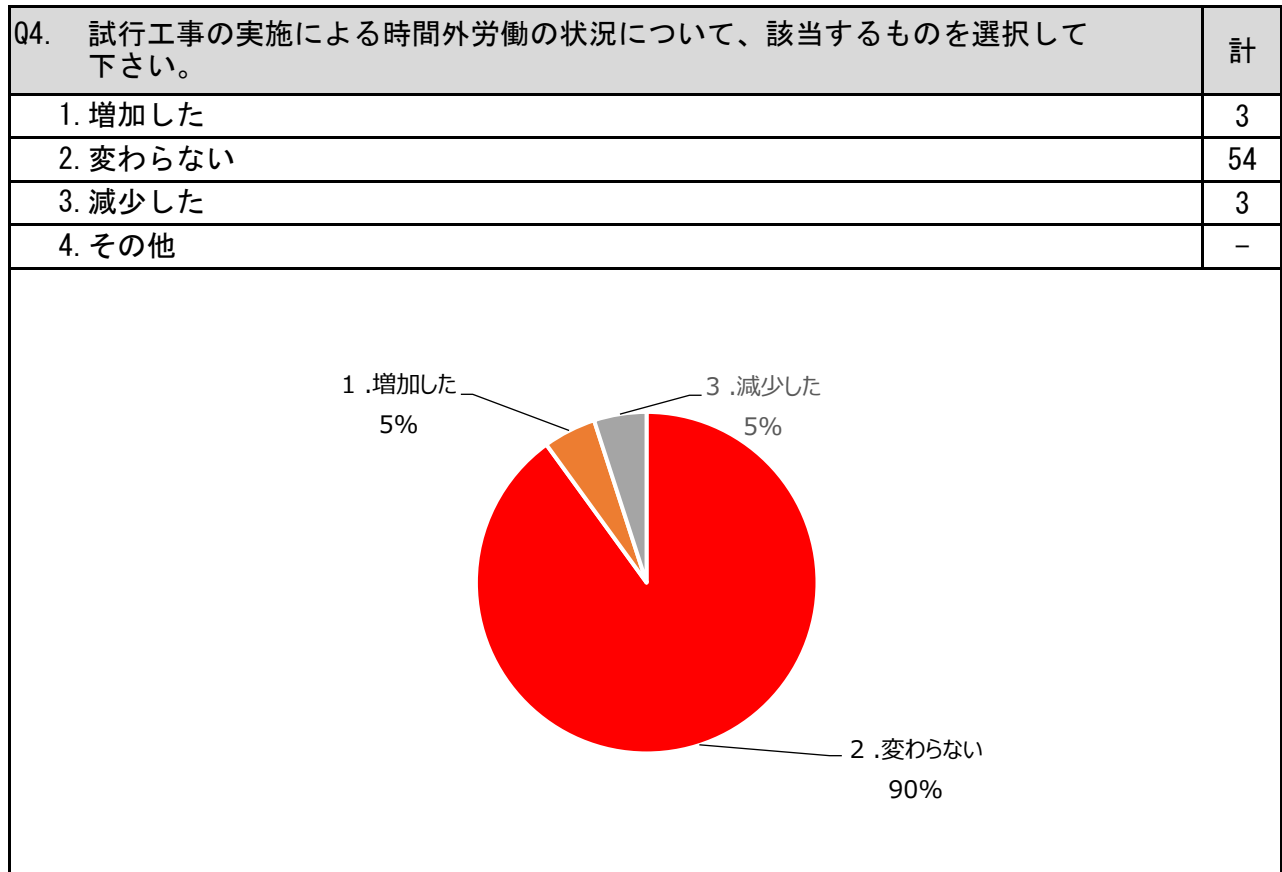
貴社の就業規則で定めている休日について、該当するものを次の中から選択して下さい。	計
1. 完全週休2日制	21
2. 4週8休制	21
3. 4週6休制	13
4. 4週4休制	1
5. その他	6
・変形労働時間制	

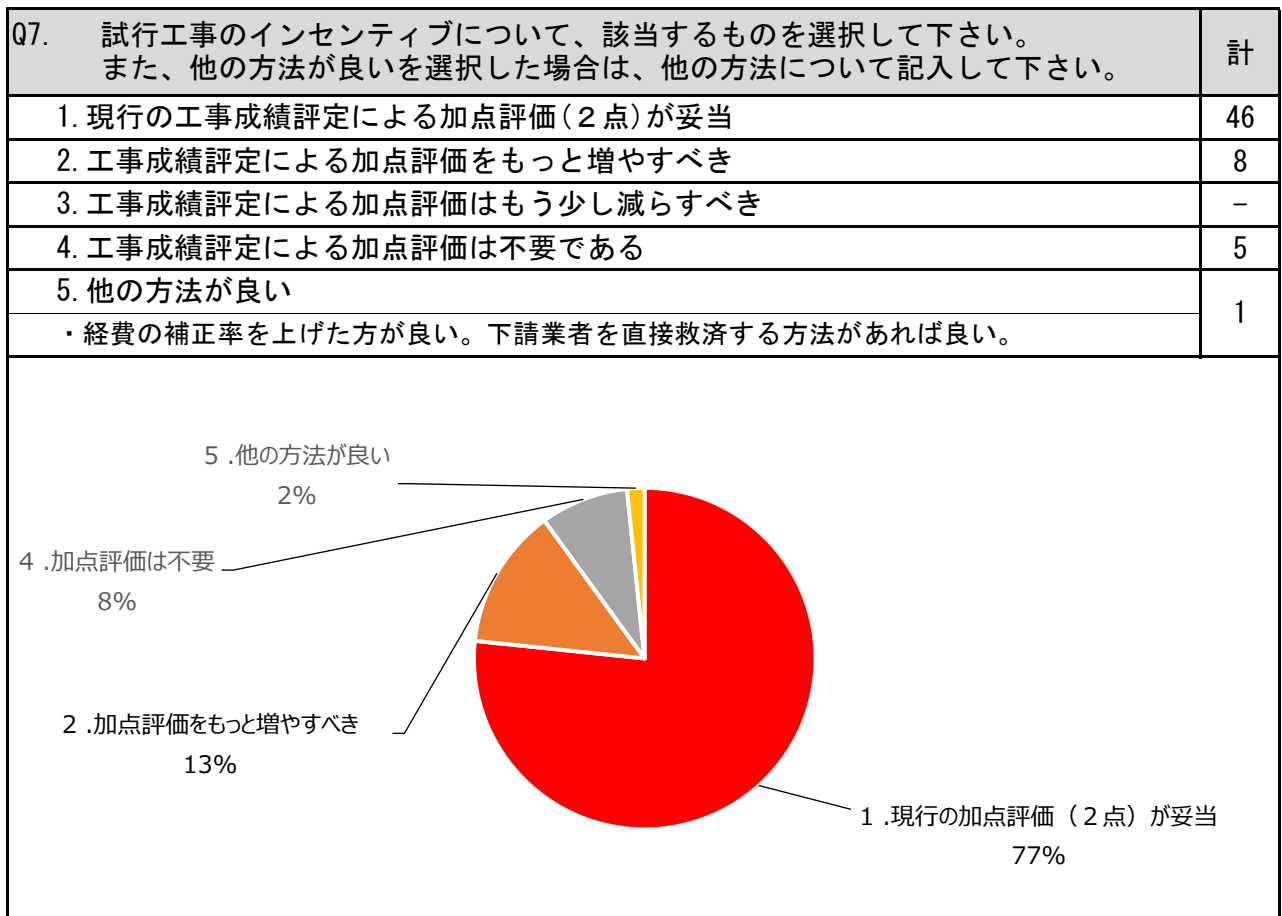
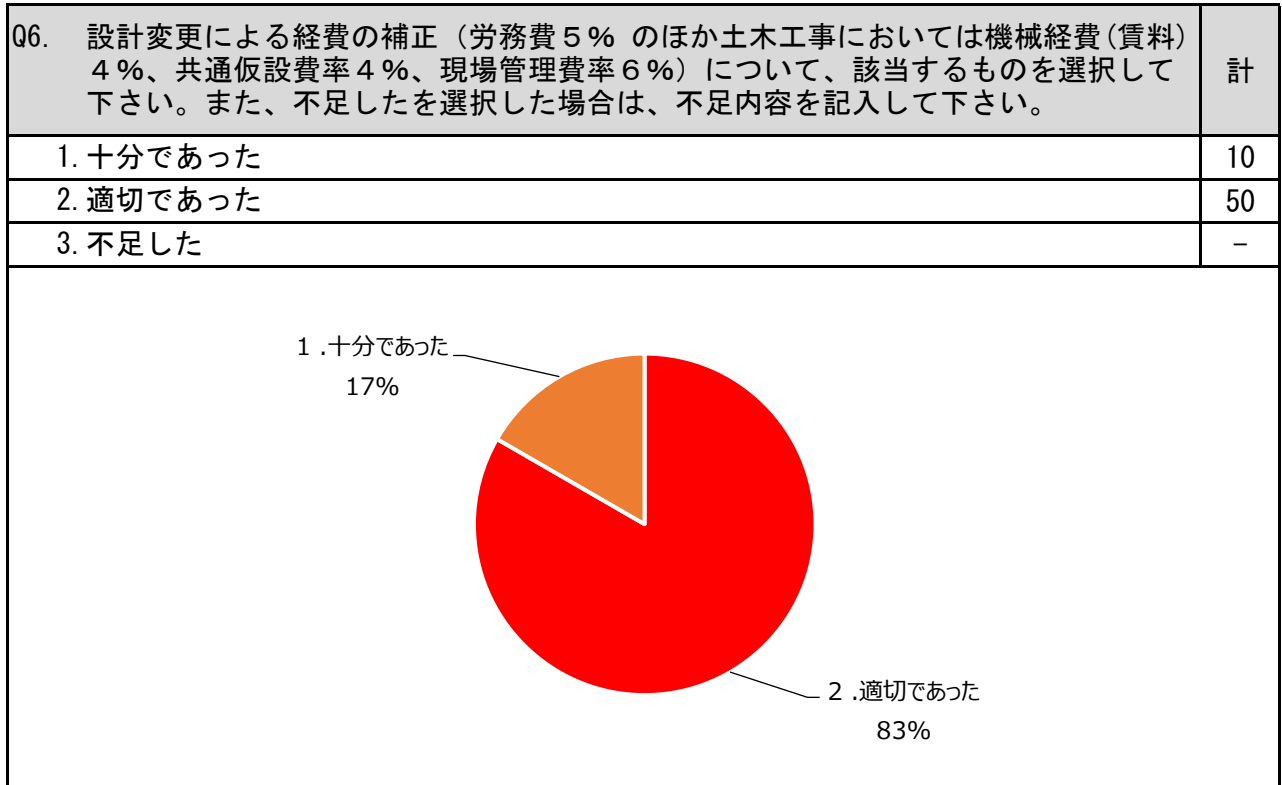
項目	割合
1. 完全週休2日制	34%
2. 4週8休制	34%
3. 4週6休制	21%
4. 4週4休制	1%
5. その他	10%

Q1. 試行工事の実施状況を次の中から選択して下さい。	計
1. 実施し、4週8休を履行できた	60
2. 実施したが、4週8休を履行できなかった	1
3. 実施しなかった	1
4. その他	-

項目	割合
1. 実施し、4週8休を履行できた	97%
2. 実施したが、4週8休を履行できなかった	1%
3. 実施しなかった	2%







Q8. 試行工事の実施に当たり、下請企業に対して配慮したことがあれば選択してください。 また、3.及び5.を選択した場合は、その内容を記入して下さい。	計
1. 週休2日試行工事であることを明示したうえで、見積依頼を行った	43
2. 週休2日の達成後に、契約変更により増額した	2
3. 当現場の休工日には、何らかの配慮を行った	1
4. 通常工事と同じであった	12
5. その他	2
・下請けを使用しなかった。下請業者の意見も聞いて工程を調整した。	

回答内容	割合
1. 明示し見積依頼	72%
4. 通常と同じ	20%
5. その他	3%
2. 契約変更した	3%
3. 何らかの配慮	2%

Q9. 試行工事の実施に当たり、技能労働者からの意見があれば記入して下さい。	計
・特に意見はなく、今後も継続して週休二日制を実施してほしい。	15
・日雇い労働者は収入減になるので、労務単価の底上げを希望。	6
・休養はもとより家庭での計画を組むことも出来、有意義な生活を送れた。	3
・現場は休みとしているが実際他の現場に行っている。	1

意見内容	件数
今後も継続して週休二日制を実施してほしい	15
労務単価の底上げ	6
休養もでき、有意義な生活を送れた	3
実際は、他の現場に従事	1

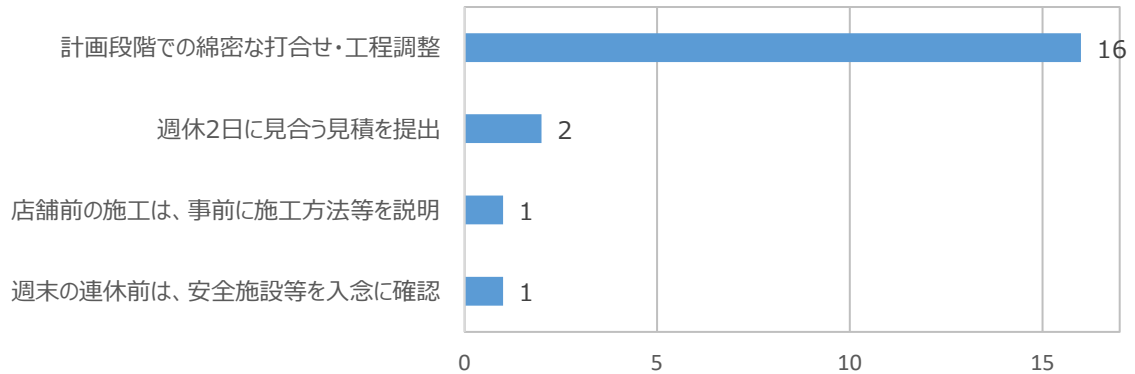
Q10. 試行工事を実施して、良かった点があれば下記に記入して下さい。	計
・休養を取ることで心身ともに余裕ができ、生活の質が向上した。	9
・計画的に休日が取得できるので、行事などの予定が立てやすい。	8
・仕事とプライベートの区分けをしっかりと行うことができた。	8
・若い力が不足している今、業界のイメージアップが図られ、こういう取り組みは必要。	2
・経費の補正や工事成績評定の加点、休日の振替にメリットがある。	2
・週末を休みにしたため、周辺からの騒音や振動の苦情が少なくなった気がする。	2

良かった点	回数
心身ともに余裕ができ、生活の質が向上	9
計画的に休日が取得でき、予定が立てやすい	8
仕事とプライベートの区分けをしっかりと行えた	8
業界のイメージアップが図られ、こういう取り組みは必要	2
経費の補正、工事成績の加点にメリット	2
週末が休みのため、周辺からの苦情が少なくなった	2

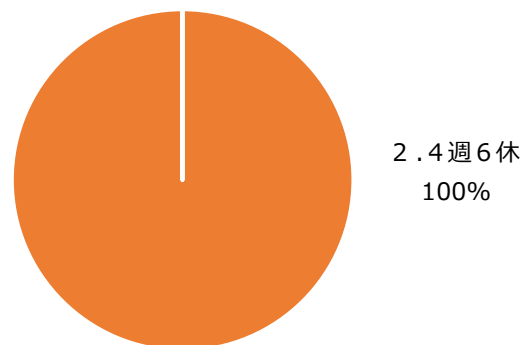
Q11. 試行工事を実施して、悪かった点があれば下記に記入して下さい。	計
・特に悪かった点はなかった。	10
・天候に左右される作業の場合、より工程の調整が必要となった。	4
・日給制の作業員は収入が減少する。	3
・技能労働者の不足から、繁忙期には工程に支障がある。	2
・平日の休みの時に連絡があり、休みの気分がしない。	1

悪かった点	回数
特に悪かった点はなかった	10
天候等により、より工程の調整が必要となった	4
日給制の作業員は収入が減少する	3
その他	2

Q12. 試行工事を実施するに当たって、工夫したことがあれば下記に記入して下さい。	計
・計画段階で下請業者と綿密な打合せや工程調整を行い、人員の確保や資材調達を早めに行った	16
・週休2日試行工事であることを下請業者に伝え、試行に見合う見積を提出させた。	2
・店舗前の施工も平日に行うため、事前に施工方法等を説明し了承を得た。	1
・週末の連休前は、安全施設や路面状況の確認を入念に実施。	1



Q13. 試行工事を実施したが履行できなかった場合 結果はどのような状況でしたか。	計
1. 4週7休であった	-
2. 4週6休であった	1
3. 4週5休以下であった	-



Q14. 試行工事を実施したが履行できなかった理由について、該当するものを次の中から選択して下さい。（複数選択可能） また、その他の要因によるを選択した場合は、要因を記入して下さい。	計
1. 自社都合により途中で辞退した	-
2. 工事内容に変更が生じたため	-
3. 地元調整に時間を要したため	-
4. 関係機関の調整に時間を要したため	-
5. 異常気象対応に時間を要したため	-
6. 関連工事との工程調整による	1
7. 工事を中止（一部中止含む）したため	-
8. 施工機械の待機日数増等による費用増のため	-
9. 技能労働者の給与水準を確保するため	-
10. 技能労働者の確保が困難になったため	-
11. 時間外労働が増加したため	-
12. その他の要因による	1
・学校内部改修を行うにあたり学校側の要望により、早く使用させる予定があった	

12. その他の要因による 50%

6. 関連工事との工程調整による 50%

Q15. 試行工事を希望しなかった（辞退した）理由について、該当するものを次の中から選択して下さい。（複数選択可能）	計
1. 試行工事の工期設定が不足	-
2. 自社都合により工事期間を短縮する必要があった	-
3. 下請会社の休日調整が困難	1
4. 経費の補正額が不足	1
5. 人力的に社内体制が整っていない	-
6. 技能労働者の給与水準を確保するため	-
7. 技能労働者の確保が困難なため	1
8. その他の理由	-

Q16. 今後、どのような工事が試行工事として発注されると、週休2日による施工に取り組みやすい（又は、取り組みにくい）と思いますか。ご意見等があれば記入して下さい。

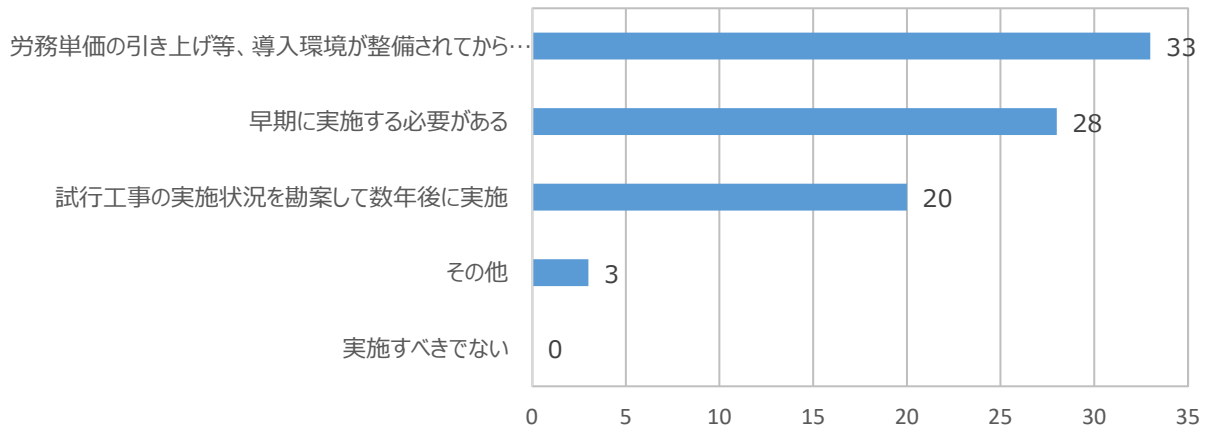
■ 取り組みやすい工事	計
・発注時期が早い工事、フレックス工期の工事は取り組みやすい。	4
・舗装路面改良工事、生活道路整備工事、水道工事、管更生工事、受変電（高圧機器）更新工事は取り組みやすい。	4
・新築、改修、解体が重複しない工事や、内部改修でも第三者の影響を受けない工事は取り組みやすい。	1
・道路規制を伴わない工事は取り組みやすい。	1

工事の種類	件数
発注時期が早い工事、フレックス工期の工事	4
舗装路面改良、生活道路、水道、管更生工事	4
新築、改修、解体が重複しない工事	1
道路規制を伴わない工事	1

■ 取り組みにくい工事	計
・建物利用状態での改修工事や、集中できる期間（夏休み期間等）が限定されている学校改修工事、建築附帯の設備工事は建築工程の影響を受け過ぎるため取り組みにくい。	7
・地先との協議が影響する工事は、取り組みにくい。（歩道バリアフリー工事など）	7
・天気に影響される工種は取り組みにくい。（しかし、週休2日は行うべき）	4
・お盆前後の発注工事は秋から冬にかけての工事のため、天候に左右され取り組みにくい。	2

工事の種類	件数
建物利用状態での改修、期間が限定される学校改修	7
地先との協議が影響する工事	7
天候に左右される工事	4
お盆前後の発注工事	2

Q17. 建設現場に週休2日を本格導入する時期について、該当するものを次の中から選択して下さい。（複数選択可能）	計
1. 早期に実施する必要がある	28
2. 試行工事の実施状況を勘案して数年後に実施	20
3. 労務単価の引き上げ等、導入環境が整備されてから実施	33
4. 実施すべきでない	-
5. その他（労働力不足問題の解決が先）	3



Q18. 建設現場に週休2日を導入するうえで必要なことについて、該当するものを次の中から選択してください（複数選択可能）	計
1. 余裕をもった工期の設定	54
2. 協力会社からの協力	33
3. 降雨、降雪などの気象条件に伴う柔軟な工期変更	39
4. 業界の意識改革	31
5. 技能労働者の給与水準の確保	35
6. 工事の発注時期	28
7. 人手不足の改善	31
8. 工事書類の簡素化	35
9. 現地状況を踏まえた適切な条件明示の徹底	15
10. 週休2日の達成に伴う工事成績評価等のインセンティブ	13
11. 積算基準の見直し	8
12. 施工時期の平準化	4
13. プレキャスト製品などの積極的な活用による生産性向上	4
14. ワンデーレスポンスの徹底	3
15. ICTの全面的な活用の推進	0
16. クリティカルパス等の情報共有	1
17. その他（品不足への考慮・閉庁日のみ工事可能な工事）	2

